

報道関係各位

2025 年 12 月 22 日
株式会社 eve autonomy

【eve autonomy イベントレポート】

屋外自動搬送「eve auto」の実運用を見据えた展示内容と反響を公開



株式会社 eve autonomy（イヴ・オートノミー、静岡県磐田市、代表取締役 CEO：星野亮介、以下「eve autonomy」）は、2025 年 12 月 3 日（水）から 6 日（土）まで東京ビッグサイトに開催された「国際ロボット展 2025（iREX2025）」において、ヤマハ発動機株式会社のブース内に出席しました。会期中は多くの皆様にご来場いただき、心より御礼申し上げます。

本アフターレポートでは、会期中のブースの様子をはじめ、屋外自動搬送ソリューション「eve auto」において参考展示としてご紹介した各種機能ならびに、それらに対する来場者の反応について、詳しくまとめています。

なお、本リリースに掲載している内容と同様のレポートは、以下の URL においてもご覧いただけます。

https://eveautonomy.com/event/irex2025_after

国際ロボット展 2025 出展概要

展示会名：国際ロボット展 2025（iREX2025）

会 期：2025 年 12 月 3 日（水）～12 月 6 日（土）

会 場：東京ビッグサイト

出展内容：屋外自動搬送ソリューション「eve auto」

参考展示（自動連結機能／後方安全機能／幅寄せ機能 ほか）

リアル会場 入場者数

日付	天気	入場者数	累計
12/3(水)	曇り	36,592名 (前回:34,125名)	-
12/4(木)	晴れ	42,179名 (前回:39,458名)	78,771名 (前回:73,583名)
12/5(金)	晴れ	47,464名 (前回:45,789名)	126,235名 (前回:119,372名)
12/6(土)	晴れ	29,875名 (前回:28,753名)	156,110名 (前回:148,125名)
合計		156,110名	

会期中の様子

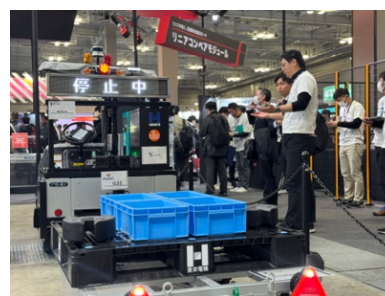
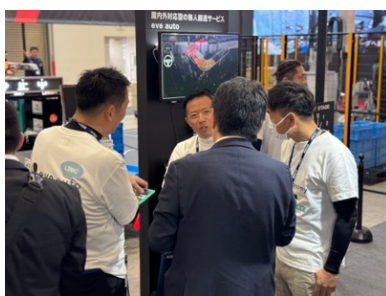
-屋外自動搬送への高い関心-

会期を通して、製造業・物流業を中心に、建屋間搬送・構内搬送の自動化を検討されている多くの来場者にブースへお越しいただきました。

特に多く寄せられたのは、以下のような声です。

- 「屋外でも本当に安定して走れるのか？」
- 「既存の構内レイアウトを変えずに導入できるか？」
- 「人やフォークリフトと共存できるのか？」

実際の運用事例や構成を交えながら、“現場でどう使われているか”を具体的にお伝えする場となりました。



ブース内プレゼンテーション

ヤマハ発動機のスカラロボットと eve auto によるコラボレーション展示を通じて、屋外自動搬送の考え方や、eve auto が解決できる課題、実際の導入事例について、セールス&マーケティング部長の龍よりプレゼンテーションを行いました。

「まずは全体像を知りたい」という方から「具体的な導入条件を相談したい」という方まで、幅広い関心を感じる機会となりました。

▼プレゼンテーション動画 (YouTube)

https://youtu.be/3Nq_dsB7Mxk

参考展示のご紹介

-現場ニーズを反映した機能提案-

今回の展示では、実機展示に加え、今後の運用拡張を見据えた参考展示もご紹介しました。



・自動連結機能

牽引作業のさらなる自動化を想定した機能。

台車との連結(脱着)作業を自動化することで、人手作業の削減と安定した運用を目指します。



・後方安全機能

後退時の安全性向上を目的とした機能。

自動運転で後退する際に、障害物や人を検知すると自動的に停止します。



・幅寄せ機能

ロボットアームの可動範囲や設置条件に合わせ、車両が壁際へ幅寄せした位置に停止します。

荷受け・荷渡し工程とのスムーズな連携を支援します。

来場者様の声（一部抜粋）

展示会ならではの、現場感のあるご意見を多数お寄せいただきました。

特に自動連結機能については、人手作業が残っていた工程の負荷軽減につながる点が評価され、多くの関心を集めました。

- 「屋外自動搬送をここまで具体的にイメージできたのは初めて」
- 「構内を大きく変えずに導入できそうで、現実的だと感じた」
- 「連結が自動化されれば、人が張り付く必要がなくなり、作業負荷が大きく軽減されそうですね」

今後に向けて

eve autonomy は、屋外・屋内を問わず、人と共存できる自動搬送をテーマに、現場に寄り添ったソリューションの提供を続けていきます。

展示会でいただいた声をもとに、機能開発・サービス改善を進めてまいります。

自動搬送サービス「eve auto」



eve autonomy は工場や物流施設向けに、主に屋外における事前の設備工事を必要とせずに自動搬送システムの導入を実現するソリューション「eve auto®」を提供しております。屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められます。

eve auto®は、高い信頼性により全国で活用されている EV カートと、一般公道においても活用される最先端の自動運転技術を活用し、雨天や夜間でも工場等の敷地内屋外環境で自動運転レベル 4 での無人搬送運用を実現しているため、24 時間稼働が求められる施設での運用も可能です。現在、全国約 60 拠点・90 台以上が稼働しています。

【主要スペック】

製品名	eve auto(イブ・オート) FG-01
寸法／重量	全長 2,275×全幅 1,105×全高 1,885(mm)／483kg
最大牽引重量／積載重量	1,500 kg／300kg
駆動方式／バッテリー	DC モーター／リチウムイオンバッテリー（スペア交換可能）
最大走行速度	手動運転時 19km/h、自動運転時 10km/h
最大登坂性能	9.6 度（17％）無負荷・手動運転時、 6.8 度（12％）積載 300kg・自動運転時
安全機能	レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ
自動運転機能	自動運転レベル 4（自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止）
主な管理機能	FMS（フリートマネジメントシステム）：PC、タブレットで利用可能なクラウドシステム 走行ルート設定、停留所設定、ステータス監視、走行開始・停止制御
設備連携機能	eve auto connect による自動シャッター連携、信号機連携、パトランプ連携 等

- ・ eve auto 製品・サービスページ：<https://eveautonomy.com/service>
- ・ 導入事例紹介ページ：<https://eveautonomy.com/casestudy>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社 eve autonomy セールス & マーケティング部

TEL：0538-40-9170

Mail：mk@eveautonomy.com

Web：<https://eveautonomy.com/contact>

株式会社 eve autonomy

本社：静岡県磐田市大中瀬 868 番地 1

代表取締役 CEO：星野 亮介

HP：<https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は「今日から自動化」のスローガンのもと、工場や物流施設での屋外搬送業務の無人化を実現するサービス「eve auto®」を提供しています。私たちのビジョンは、すべての「働く」に彩りを加え、人々がより豊かで楽しく、喜びに満ちた人生を歩むことができる社会を実現することです。世界最先端の自動運転技術と、長年にわたり培われた品質・信頼を基盤に、世の中の「運ぶ」をアップデートし、新たなワークスタイルの創出に貢献してまいります。

「愛ある者であれ」。この価値観を胸に、私たちは人間らしいアプローチでチーム、事業パートナー、お客様と接し、持続可能で豊かな未来を共に築いていきます。